総社市立秦小学校 **学校だより** 令和５年度　第２０号
７月１０日(月)

☆　今年の夏休みの宿題は。ありますよ、作文・秘伝の書! ☆

終業式まであと１週間となりました。先生方は通知表と懇談資料作成に懸命です。19日には通知表を持って帰ります。その日はお子さんと学校のことを話題にして、叱咤を少々、激励をたくさんしてあげてください。

３年生　「向こうの壁までいくぞ」

今年の夏の計画を考えられているご家庭が多いと思います。コロナ禍による規制が緩和され、楽しみなことが子どもたちをたくさん待っていることでしょう。『もうすぐ、夏休み』と聞くと子どもたちの心が躍ります。さて、問題は宿題です。皆さんはどっち派でしたか。

Ａ：すぐ取り掛かって前半で終わらせる。
Ｂ：先にしっかり遊んで後からする。
Ｃ：計画的に毎日少しずつする。

私はAでした。正確には、昔は宿題の定番だった『夏休みの友』のできるところだけ最初にやって、時間がかかることは後から考えるタイプです。一番時間がかかったのが作文です。まず、何をテーマにして書くかが問題。これは、出来事に大事件でもないと書けないし、大成功したことも今のところないし・・・とか考えながら後回しにして、少年はとりあえず、近くの川へほぼ毎日魚獲りに出かけるのでした。

魚が潜んでいるポイントは決まっていて下流から川の中を歩いて上り、仲間と協力して魚を追い込んでいきます。道具はなし。素手です。岩の四方から手を突っ込んでブルッッとした感触があればみんなで取り囲んで逃がさないようにもっと奥へ手を差し入れます。頭をつかめば勝利確定。捕まえた魚は現地で即席の生けすを作って生かしておきます。そして次のターゲットへの繰り返し。夏休みはずっとこれでした。

作文にも書きました。『今日、川へ行きました。最初は〇〇くんが・・・・。次にぼくが・・・。(中略) 合計フナとハヤが〇匹取れました。ナマズも一匹とれたので、かば焼きにして食べてみました。まあまあおいしかったけど・・・こんどはもっととりたいです。』毎年こんな感じの作文です。「あなたのは、したことは書いてあるけど、もっとどう思ったとか、心が動いたことを詳しく書きなさい。一番書きたかったことは何？何を伝えたいの？テーマは？」と先生からはこんな風に言われるわけです。ナマズが獲れたことは自分にとっては大事件で、大成功で最高にうれしい瞬間だったのに先生の言っている意味が当時の私には理解できませんでした。ちなみに読書感想文はもっと悲惨でした。

そんなわけで、いまだに作文は苦手なのですが、今回は皆さんにいい本を紹介します。この２つの文集は毎年つくられていて学校や近隣の図書館にも置かれています。『おかやまっ子』は書店で『読書感想文集』は学校で買うことができます。皆さんと同じ岡山県の小学生が一生懸命に伝えたいことを書いています。どんなこと書こうかなとか、どんなふうに書いたらいいのかなと思ったら、まずは読んでみてください。「そういえば私にも」といういいヒントが見つかります。